

3 里地里山管理や利用の実践的手法の拡大

④事業者との連携による活動の例

兵庫：企業（能勢電鉄株式会社）及び独立行政法人（一庫ダム管理所）における里山の維持管理と再生

「日本一の里山」が広がる川西市黒川・一庫地域では、能勢電鉄株式会社や一庫ダムなどの企業・団体が里地里山の保全に大きな役割を果たしている。更に、県が進める「里山林整備事業」が里山の管理体制を形作り、それにNPOなどの活動団体が深く関係しさまざまな取り組みが同時並行的に進められてきた。里山の保全に、NPOや行政などがかかわる事例は多いが、さらに企業や団体などが深く里山保全にかかわった事例として成果を挙げている。

- ・**能勢電鉄株式会社の里山PR及び観光産業**：能勢電鉄社が所有する土地(黒川地域)には、かつては炭焼きに利用されたクヌギ林が広がっている。そこで、「日本一の里山」をキーワードに里山ハイキングと称して、これらの里山を見学するハイキングコースを設定し、年に数十回のイベントを実施し、里山のすばらしさをアピールすると共に、事業としても成功を収めている。また、黒川市が行った「黒川里山まつり」では、機内広告誌などを使った広告媒体としての役割を担うなど、宣伝やPR活動に積極的に関与する重要な役割を演じている。
- ・**能勢電鉄の里山林保全**：能勢電鉄が所有する里山林には未利用の場所が多く含まれていた。そこで、県が実施する里山林整備事業に参画して、土地を提供し、県、地元NPO（川西里山クラブ）と共に里山復活、台場クヌギの整備のための活動を行っている。
- ・**一庫ダム管理所のクヌギ林活動など**：クヌギ林の広がる一庫地域に広がる一庫ダムでは、水涵養の効果もあるダム周辺の里山の保全に貢献するために、ダム所有地へのクヌギの植林活動「クヌギを植えて里山を作ろう大作戦」を毎年展開している。さらに、ソメイヨシノの原種であり希少種でもあるエドヒガンの分布調査、外来種であるブルーギルやブラックバス等の駆除、漁協との連携、台場クヌギを作る活動など里山保全活動のための土地の提供だけではなく、さまざまな活動を展開し、NPOとの協力体制も作っている。
- ・**一庫公園での活動**：一庫ダムと隣接する一庫公園には、かつて炭焼が行われた窯跡などが多数残され、今なお、菊炭の伝統文化を伝える重要な場所となっている。一庫公園とNPOひとくら里山楽校が協力して、伝統的里山管理を実際に一般市民に見せることができる見本林や、炭焼を行う窯を再現し、普及啓発活動を行っている。

